

⑫ 公開特許公報(A) 平1-150928

⑮ Int.Cl.⁴

G 06 F
3/14
3/02

識別記号

3 4 0
3 7 0

庁内整理番号

B-7341-5B
A-8724-5B

⑯ 公開 平成1年(1989)6月13日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑰ 発明の名称 ポップアップヘルプ方式

⑱ 特 願 昭62-311640

⑲ 出 願 昭62(1987)12月8日

⑳ 発 明 者 石 井 和 義 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

㉑ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

㉒ 代 理 人 弁理士 河原 純一

明 細 書

1. 発明の名称

ポップアップヘルプ方式

2. 特許請求の範囲

ディスプレイ装置の表示画面上の一部にヘルプ画面を表示可能な情報処理システムにおいて、

前記表示画面のイメージを格納する表示画面メモリ領域と、

前記ヘルプ画面のイメージを格納するヘルプ画面メモリ領域と、

所定のキー操作に応じて前記ヘルプ画面メモリ領域に格納されているヘルプ画面のイメージを前記表示画面上の一部に表示し他の所定のキー操作に応じて前記表示画面メモリ領域に格納されている表示画面のイメージを前記表示画面上に表示するディスプレイ表示制御部と、

を有することを特徴とするポップアップヘルプ方式。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はポップアップヘルプ方式に関し、特にディスプレイ装置の表示画面上の一部にヘルプ画面を表示可能な情報処理システムにおけるポップアップヘルプ方式に関する。

(従来の技術)

従来、この種のポップアップヘルプ方式は、表示画面メモリ領域しかもっており、表示画面上の一部にヘルプ画面を重ね合わせて表示させた場合には、表示画面メモリ領域に格納されている表示画面のイメージの一部がヘルプ画面のイメージに置き換えられてヘルプ画面の表示が行われるようになっていた。このため、ヘルプ画面の表示を解除してヘルプ画面を重ね合わせる前の元の表示画面に戻る場合には、元の表示画面を生成する処理を再実行して表示画面メモリ領域に表示画面のイメージを再格納して、表示画面メモリ領域に格納された表示画面のイメージを再表示していた。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した従来のポップアップヘルプ方式は、表示画面メモリ領域しかもっており、表示画面に

ヘルプ画面を重ね合わせて表示させた場合には表示画面メモリ領域に格納されていた表示画面のイメージが壊れてしまうので、元の表示画面に戻すためには元の表示画面を生成する処理を再実行して表示画面メモリ領域に表示画面のイメージを再格納して表示画面メモリ領域に格納された表示画面のイメージを再表示しなければならず、元の表示画面の再表示に時間がかかるという欠点がある。

本発明の目的は、上述の点に鑑み、元の表示画面の再表示に要する時間を短縮することにより表示画面再現時の応答性のよいポップアップヘルプ方式を提供することにある。

(問題点を解決するための手段)

本発明のポップアップヘルプ方式は、ディスプレイ装置の表示画面上の一部にヘルプ画面を表示可能な情報処理システムにおいて、前記表示画面のイメージを格納する表示画面メモリ領域と、前記ヘルプ画面のイメージを格納するヘルプ画面メモリ領域と、所定のキー操作に応じて前記ヘルプ画面メモリ領域に格納されているヘルプ画面のイ

メージを前記表示画面上の一部に表示し他の所定のキー操作に応じて前記表示画面メモリ領域に格納されている表示画面のイメージを前記表示画面上に表示するディスプレイ表示制御部とを有する。

(作用)

本発明のポップアップヘルプ方式では、表示画面メモリ領域が表示画面のイメージを格納し、ヘルプ画面メモリ領域がヘルプ画面のイメージを格納し、ディスプレイ表示制御部が所定のキー操作に応じてヘルプ画面メモリ領域に格納されているヘルプ画面のイメージを表示画面上の一部に表示し他の所定のキー操作に応じて表示画面メモリ領域に格納されている表示画面のイメージを表示画面上に表示する。

(実施例)

次に、本発明について図面を参照して詳細に説明する。

第1図は、本発明の一実施例のポップアップヘルプ方式が適用された情報処理システムを示すブロック図である。この情報処理システムは、中央

処理装置1と、主記憶2と、ディスプレイ装置3と、キーボード4と、フロッピーディスク装置5とから、その主要部が構成されている。

中央処理装置1には、ディスプレイ表示制御部11が含まれるようになっている。

主記憶2には、表示画面メモリ領域21と、ヘルプ画面メモリ領域22と、ヘルプ内容メモリ領域23とが形成されるようになっている。

第2図を参照すると、ディスプレイ装置3上には、全面にわたる表示画面領域31が形成され、表示画面領域31の一部(例えば右下隅の領域)がヘルプ画面領域32となっている。なお、ヘルプ画面領域32の位置は、指定により可変となっている。

次に、このように構成された本実施例のポップアップヘルプ方式の動作について、第3図(a)~(c)に示す具体例を適宜参照しながら説明する。

フロッピーディスク装置5に実行結果をディスプレイ装置3に表示するアプリケーションプログラム(以下、単にプログラムと称する)を格納したフロッピーディスクが装填されて情報処理シス

テムが立ち上げられると、中央処理装置1にディスプレイ表示制御部11が形成され、主記憶2に表示画面メモリ領域21、ヘルプ画面メモリ領域22およびヘルプ内容メモリ領域23が確保される。ヘルプ内容メモリ領域23には、ヘルプ内容が格納される。

次に、プログラムが実行されると、実行結果が表示画面のイメージとして得られ、表示画面メモリ領域21に格納される。

ディスプレイ表示制御部11は、表示画面メモリ領域21に格納された表示画面のイメージを、例えば第3図(a)に示すように、ディスプレイ装置3の表示画面領域31に表示画面として表示する。

ディスプレイ装置3の表示画面領域31に表示された実行結果を表す表示画面を見た使用者が、例えば実行結果の解釈の仕方を知るために、キーボード4上のヘルプキー(図示せず)を押下すると、ディスプレイ表示制御部11は、まず表示画面に表された実行結果に対応するヘルプ内容をヘルプ内容メモリ領域23からヘルプ画面のイメージとして

ヘルプ画面メモリ領域22に読み込む。次に、ディスプレイ表示制御部11は、例えば第3図例に示すように、ヘルプ画面メモリ領域22に読み込まれたヘルプ画面のイメージを、ディスプレイ装置3の表示画面領域31に表示されている実行結果を表す表示画面に重ね合わせて、ヘルプ画面領域32にヘルプ画面として表示する。

ヘルプ画面の表示状態から使用者がキーボード4上のスクロールキー（図示せず）を押下すると、ディスプレイ表示制御部11は、ヘルプ内容メモリ領域23からヘルプ画面メモリ領域22にヘルプ画面のイメージとして読み込まれるヘルプ内容を順次切り換え、ヘルプ画面領域32に表示されているヘルプ画面の内容をスクロールさせる。

ヘルプ画面の表示を解除するために、使用者がキーボード4上のヘルプ終了キー（図示せず）を押下すると、ディスプレイ表示制御部11は、ヘルプ画面領域32に対応する表示画面メモリ領域21の一部に格納されている表示画面のイメージの一部をディスプレイ装置3のヘルプ画面領域32に表示

する。この結果、例えば第3図例に示すように、ヘルプ画面領域32に表示されていたヘルプ画面がヘルプ画面領域32に対応する表示画面の一部に置き換えられるので、表示画面がディスプレイ装置3の表示画面領域31に再現される。

なお、上記実施例では、ヘルプ終了キーの押下に応じてヘルプ画面領域32に対応する表示画面の一部のみを再現するようにしたが、表示画面領域31に対応する表示画面の全体を再現するようにしてもよい。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は、表示画面メモリ領域と、ヘルプ画面メモリ領域と、ディスプレイ表示制御部とを設けたことにより、ディスプレイ装置の表示画面上の一部にヘルプ画面を表示した後に短時間で元の表示画面に戻すことができ、表示画面再現時の応答性が著しく改善されるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のポップアップヘル

プ方式が適用された情報処理システムを示すブロック図、

第2図は第1図中のディスプレイ装置上の表示画面を示す図、

第3図(a)～(c)は第2図中の表示画面における表示例をそれぞれ示す図である。

図において、

- 1・・・中央処理装置、
- 2・・・主記憶、
- 3・・・ディスプレイ装置、
- 4・・・キーボード、
- 5・・・フロッピーディスク装置、
- 11・・・ディスプレイ表示制御部、
- 21・・・表示画面メモリ領域、
- 22・・・ヘルプ画面メモリ領域、
- 23・・・ヘルプ内容メモリ領域、
- 31・・・表示画面領域、
- 32・・・ヘルプ画面領域である。

特許出願人 日本電気株式会社
代理人 弁理士 河原純一

図 3 (a)

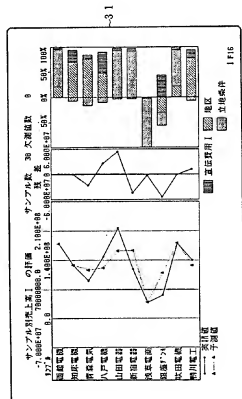


図 1

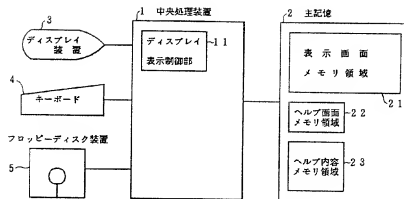


図 2

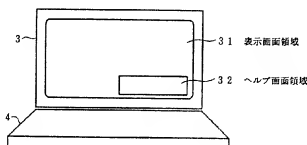


図 3 (a)

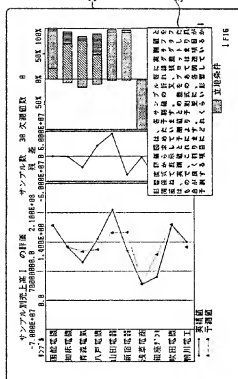
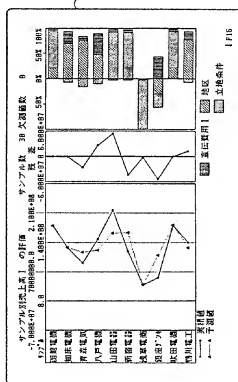


図 3 (c)



POP-UP HELPING SYSTEM

Publication number JP1150028
 Publication date 1995-04-13
 Inventor ISHII KAZUYOSHI
 Applicant NIPPON ELECTRIC CO.
 Classification G06F3/02, G06F3/04, G06F3/14, G06F3/02,
 G06F3/04, G06F3/14, (IPC1-7) G06F3/02,
 G06F3/14

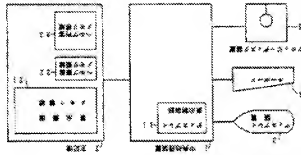
- European
 Application number JP19870311640 1987/1208
 Priority number(s) JP19870311640 1987/1208

Yoshi 2022000, shiroki shiraki
 Show list of filing documents

Request a data entry audit

Abstract of JP1150028

PURPOSE To display a helping picture to one part of the display picture of a display device and then to return the picture to the original display picture in a short time by providing a display picture memory area, a helping picture memory area and a displaying control part. CONSTITUTION To cancel the displaying of the helping picture, when a user pushes a help completing key (not shown in a figure) on a keyboard 4, a displaying control part 11 displays a part of the image of the display picture stored in one part of a display picture memory area 21 corresponding to the helping picture area to the helping picture area of the display device 3. As this result, since the helping picture displayed in the helping picture area is replaced to one part of the display picture corresponding to the helping picture area, the display picture is reproduced to the display picture area of the display device 3.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Quick Search
 Advanced Search
 Number Search
 Fast Search
 My patents list
 Classification Search
 Get assistance

Quick step
 1. If the information is classified to certain documents?
 2. Why does this information not have a link?
 3. Why does this information not have a link?
 4. Why does this information not have a link?
 5. Why does this information not have a link?
 6. Why does this information not have a link?
 7. Why does this information not have a link?
 8. Why does this information not have a link?
 9. Why does this information not have a link?
 10. Why does this information not have a link?